



INTERACTIVE
TRAINING
IN
COMMUNICATION-JAPAN

III

Volume 40
July 2022



ITC-J 第40期テーマ

2021-2022

— 未来につなぐ —

年次大会基調演説



ITC-J 第 40 期会長 稲葉 由利子

今期は、日本リージョン設立から数えて40年が経ちました。節目の年だからこそ、改めて過去を振り返り、現在を見つめ、そして未来に思いをはせることを意識し、今期のテーマを「未来につなぐ」といたしました。

今回晩餐会では、40周年の記念式典を行い歴代会長を紹介します。会員の皆様と、ITC 日本リージョンそして ITC-J の歴史を共有したいと思えます。また40周年記念誌は今期中に発刊いたします。40年間の歩みを堪能していただけるものと確信しています。

2019年末、初めて新型コロナウイルスが報告されました。コロナ禍があつという間に広がり、私たちの社会は世界的な規模で影響を受けました。もちろん ITC-J も通常通りの活動が制限され、年次大会は2年続けて開催できませんでした。この間に世の中の価値観が大きく変わり、生活様式も人々の行動も変化しました。「集まって学ぶ」ことが当然と考えていた私たち会員にも、コンピューターの画面を通して繋がる時代がやってきたのです。今期は、役員会、委員会をオンラインで行いましたが、特に ITC-J の場合、各地から集合することなく自宅から参加できることは、とても効率的、経済的であり、アジェンダに沿って進行する事務的な手段としては最高の方法だったと思えます。工夫を凝らして、オンラインの会合を楽しんでいるカウンスルやクラブもありました。実際に会うことが「唯一の条件」ではない。ほかにも手立てがあることをこのコロナ禍で学んだ気がします。

しかし公式訪問やその他の会合で会員の皆様とお会いした時、その距離を一瞬にして近づけてくれたのは、やはり同じ空間にいて、同じ空気を吸っている。目を見て、肌で感じる交流の素晴らしさだと感じました。今回皆様と参集しての大会が、個人にとっても組織にとっても成長と活力の場になることを期待しています。ITC-J を「未来につなぐ」ためには、リアルとリモートのハイブリッドな運営はこれからも必要不可欠なものになるでしょう。

ITC-J を「未来につなぐ」ために皆様の心にとどめていただきたいことがあります。それは、組織を存続するためには、会員の増員が不可欠だということです。

人口も減少し、世の中も大きく変化しました。増員が難しい事は皆様共通の認識です。会員一人ひとりが「ITC-J の魅力を伝えたい」という気持ちを意識しているかいないかには大きな違いがあります。ITC-J にとって会員は財産です。一緒に財産を増やしませんか。

2022年6月6日

ITC-J 第40期役員会年次報告

(2021年8月1日～2022年7月31日)

ITC-J 第40期役員会は、テーマ「未来につなぐ」のもと、ITC-Jが持続可能な組織となるよう、以下の活動を行った。

1. クラブ数・会員数の状況

ITC-Jは今期8カウンスル56クラブ、会員数714名でスタートした。

6月6日現在、56クラブ、会員数713名、新入会員14名である。

2. 研修会報告

(1) カウンスル会長会は2021年8月27日、2021年12月4日の2回、Zoomにて座談会形式で行った。

(2) カウンスル運営研修会（CMT）は、2022年6月7日名古屋東急ホテルに於いて、選出役員及び議会法規役員に対し全体会方式で開催される。

3. 主たる活動

(1) 役員会は議会法規役員出席の下、現在までに14回開催した。

(2) 役員は、8カウンスル第1回会合に公式訪問を行った。

(3) ITC-J会報は年3回発行し、全会員に第1号、第2号を配布した。

第3号は7月15日に発行を予定している。

(4) ITC-J通信は必要に応じて随時発行し、ウェブサイトにも掲載した。現在第8号まで配信している。

(5) 特別委員会として40周年記念誌委員会を設置し、40周年記念誌を会員に配布する。

(6) 事務局は

① 前期末に作成された会員名簿を販売した。

来期用の会員名簿を作成する。

② 新入会員のITC-J会員番号（ID）とパスワードを設定し、会員証を発行した。

③ 7種の物品を販売及び管理した。旧ITC日本リージョン資料の在庫を整理した。

(7) 会員委員会は

① パンフレット・名刺にQRコードを貼付し活用を促した。

② コロナ禍における会員の通信手段のレベルアップと交流を図るために「Zoom講座」を企画・運営した。

(8) プログラム・教育委員会は

① 期首に各クラブ・カウンスルから推薦講師を募り紹介した。

② 40周年記念講演講師を山中伸弥教授に依頼した。

③ 年次大会において6部門の教育セッションを行う。

(9) 今期のスピーチコンテストは英語部門と日本語部門の2部門にて行われる。

なお、ITC-J 第40期年次大会は、2022年6月6日、7日の2日間の日程で、大会テーマ「**やっとかめ**」のもと、名古屋東急ホテルで開催中である。

以 上

ITC-J 第40期書記 村上洋子
2022年6月6日採択

ITC-J 第40期 会計補正予算書

2021年8月1日～2022年7月31日

収入の部

科 目	期首予算額	補正予算額	増 額	備 考
前期繰越金	5,421,299	5,421,299	0	
年 会 費	3,570,000	3,570,000	0	5,000円×714名
新 入 会 員	50,000	50,000	0	月割会費
繰 入 金	1,000,000	1,000,000	0	ITC-J 基金より
資料・物品売上	450,000	450,000	0	名簿、物品他売上
受取利息・雑収入	100	100	0	
合 計	10,491,399	10,491,399	0	

支出の部

会報印刷費・送料	1,000,000	1,000,000	0	3回発行
40周年記念誌印刷代	1,000,000	1,000,000	0	ITC-J 基金から
年次大会補助金	2,000,000	2,500,000	500,000	コロナ対策の経費
交 通 費				
選出・任命役員	800,000	800,000	0	役員： 80%
委員会補助	500,000	500,000	0	委員会： 80%
役員活動費				
会 長	15,000	15,000	0	
次 期 会 長	10,000	10,000	0	
第一副会長	10,000	10,000	0	
第二副会長	10,000	10,000	0	
書 記	10,000	10,000	0	
会 計	10,000	10,000	0	
議会法規役員	10,000	10,000	0	
編 集 者	10,000	10,000	0	
事 務 局 長	20,000	20,000	0	
公式訪問費	50,000	50,000	0	会合登録費
役員会・会長会会場費	50,000	50,000	0	Zoom 費用を含む
指名委員会活動費	3,000	3,000	0	
常任委員会活動費				
会 計 監 査	2,000	2,000	0	
予算・財務	2,000	2,000	0	
会則・決議	5,000	5,000	0	
大会準備	200,000	200,000	0	
教育資料	10,000	10,000	0	
選 挙	5,000	5,000	0	
国際交流	2,000	2,000	0	
会 員	100,000	100,000	0	
プログラム・教育	100,000	100,000	0	
スピーチコンテスト	40,000	40,000	0	
ウェブサイト	10,000	10,000	0	
特別委員会活動費				
派遣員資格確認	5,000	5,000	0	
40周年記念誌	30,000	30,000	0	
資料・物品費	450,000	450,000	0	名簿印刷、送料等
慶 弔 費	10,000	10,000	0	慶弔関係費・送料
役員就任式費	20,000	20,000	0	
CMT経費	10,000	10,000	0	
支払手数料	10,000	10,000	0	
雑 費	200,000	200,000	0	
予 備 費	3,772,399	3,272,399	△500,000	
合 計	10,491,399	10,491,399	0	

2022年6月19日

予算・財務委員長：和田 晴子
委 員：金子三屋子

ITC-J 会則修正案審議結果報告

ITC-J 第40期40周年記念年次大会において審議された ITC-J 会則修正案 5 件、細則修正案 1 件の審議結果です。
 会則・決議委員長 遠藤美与子

修正案 1. 3分の2の賛成で可決

現行会則	修正後の表記
6.2.5.a. 全ての会合の議事録を作成し、写しを役員会に提出する。議事録は永久保存とする。	6.2.5.a. 役員会が指示した会合の議事録草稿を作成し、承認を得て正式の議事録となる。承認された年次大会議事録は永久保存とする。

修正案 2. 賛成41票 反対14票 3分の2の賛成で可決

現行会則	修正後の表記
12. ITC-J 事務局 12.1. ITC-J は、役員会管理の下に ITC-J 事務局を置く。 12.2. 目的 会員のための事務業務を行う。	

修正案 3. は 修正案 2 が可決されたため、審議されなかった。

修正案 4. 過半数の賛成で可決

現行会則	修正後の表記
1.2. 年会費には、ITC-J 会報代及び ITC-J 事務局運営費が含まれる。会報は重複会員を含め会員 1 名につき 1 冊のみ配布される。	1.2. 年会費には、ITC-J 会報代が含まれる。会報は重複会員を含め会員 1 名につき 1 冊のみ配布される。

修正案 5. 3分の2の賛成で可決

現行会則	修正後の表記
11. 委員会 11.1. 常任委員会：ITC-J の常任委員会は次のとおりとする。 1. 会計監査 2. 予算・財務 3. 会則・決議 4. 大会準備 5. 教育資料 6. 選挙 7. 国際交流 8. 会員(広報、増設を含む) 9. プログラム・教育 10. スピーチコンテスト 11. ウェブサイト	11. 委員会 11.1. 常任委員会：ITC-J の常任委員会は次のとおりとする。 1. 会計監査 2. 予算・財務 3. 会則・決議 4. 大会準備 5. 教育資料 6. 選挙 7. 事務管理 8. 国際交流 9. 会員(広報、増設を含む) 10. プログラム・教育 11. スピーチコンテスト 12. ウェブサイト

修正案 6. 3分の2の賛成で可決

現行会則	修正後の表記
	11.2.7. 事務管理委員会は 11.2.7.a. 会員名簿の管理と期末に Roster の作成と販売を行う。 11.2.7.b. 新入会員の ITC-J 会員番号 (ID) とパスワードを設定し、会員証を発行する。 11.2.7.c. 資料・物品の管理と販売を行う。

ITC-J 第40期 40周年記念年次大会

記念講演「iPS細胞がひらく新しい医学」

講師

ノーベル生理学・医学賞受賞者
山中 伸弥 教授



プログラムリーダー 末廣 佳香

40周年記念年次大会に2012年にノーベル生理学・医学賞を受賞された山中伸弥教授をお迎えして「iPS細胞がひらく新しい医学」と題して記念講演が開催されました。



参加者はゲストを含め約600名と盛会でした。講演内容は、iPS細胞の実用化が未来にひろがっていく、まさに今年年間テーマ「未来につなぐ」に相応しいものでした。初めにお父様をご紹介し、ご自分が医者・研究者になった経緯を説明し、最後にお母様をご紹介なさいました。ご両親への感謝と尊敬の念が込められていました。山中教授の厳格な中にも柔らかな語り口と優しいまなざしに会場全体が温かな空気に包まれました。



講演後、皆様の思いを代弁し、山中先生にお礼を述べた時、微笑んでこちらに目を遣り、会釈なさいましたことは忘れられないシーンです。

終了後、皆様から頂いた温かいお言葉は嬉しく有難く、今後の励みに繋がりました。「楽しんで・いつも通り」に臨むことができました。この大会が生涯の思い出になったことは言うまでもありません。

CiRA（京都大学 iPS 細胞研究所）ブースから

ブースにお立ち寄りいただいた会員様からは、研究への期待や「応援している」と激励のお言葉を直接いただけて、大変励みになりました。

実施中の臨床試験や研究成果についてご質問もいただき、高い関心をお寄せいただけて大変嬉しく思いました。

これからも iPS 細胞研究を見守っていただけますと幸甚です。



教育セッション

教育セッション A

現代美術とは何か
果てしなく展開される
その2つの使命

講師 高北 幸矢氏



プログラムリーダー 早川 桂古

現代美術とはなにか？というテーマで講演して頂きました。現代美術といえば、バンクシーか草間彌生か？このところ投資対象となり、高額になってしまったというぼんやりとモヤモヤした思いがありました。

講師の高北幸矢先生は今に至るまでの美術史から紐解き、美術を美術品ではなく、本当の芸術として捉える視点をわかりやすく、スッキリ教えて下さいました。参加の皆さんから良かったとの声を頂き、私は先生の作品展に行こうと計画中です。

直接仲間と話を聞く、そして見聞が広がり、友人が増え、自分の世界も広がっていく、これがITC-Jの醍醐味ですね！



教育セッション B

不便が彩るパリの日常
「ふだん着」の
パリに潜む魅力

講師 松本ブシェ百合子氏



プログラムリーダー 小酒 萬喜子

松本ブシェ百合子さんは翻訳業の傍ら、フランス人のご主人が経営する銀座のレストランのサポートをなさり、バカンスはフランスで過ごす生活をされています。パリで初めて部屋を借りて住んでみると、古い建物でエレベーターがなく毎日食べるパンや買い物での忘れ物など、階段昇降が必須で大変でした。人の家に招かれると各お部屋が披露され、これがフランス流おもてなしだと気付きました。日本の住宅との違いは照明です。薄暗くなると部屋の暗さに合わせ少しずつ照明を点けます。収納や花の飾り方もセンス良くインテリアの勉強になったそうです。笑顔を決して絶やさず素敵な方でした。今後の人生の参考にすると参加者の感想を頂き良かったと思いました。



教育セッション C

すべての人に星空をー
宇宙と私たちのつながり

講師 高橋真理子氏



プログラムリーダー 本田 光代

年次大会において、初めて教育プログラムリーダーというお役を頂き、感謝しつつも不安な心持の中でのスタートでしたが、講師の高橋真理子先生の飾らないお人柄と落ち着いた声に、少しずつ緊張も解け、何とか無事に終えることができました。

先生の活動の中に病気で外出できない子供たちの為にプラネタリウムを届けるというのがあります。真っ暗な中で輝く星を見る子供たちの嬉しそうな声に涙が溢れました。星の持つ力はすごいです。時間に追われ、ゆっくり星空を見上げることが難しい日々ですが、先生のお話を伺い、時には夜空を見上げ星のパワーを頂きたいなと思いました。そして是非、皆様にも先生のお話を聞いて頂きたいです。



教育セッション D

プログラムリーダー 稲次 美子

Cocktail & Beverage Seminar

—カクテルの魅力と
スマートなバーの使い方—

講師 小森谷 弘氏



晩餐会でのカクテルパフォーマンスに引き続いての教育セッションは、充実した内容でした。約50名の参加者の中 PowerPoint を使いアルコールの大別・歴史・カクテルの定義と解りやすい説明がありました。お二人のスマートな実演で、オリーブを飾った35°のマティニーを男性会員があつという間に飲み干されました。また、体験学習ではジントニックの調整方法を享受され、2名の会員が見事にシェーカーを振られました。今夜にもバーでカクテルを飲みたくなる気持ちを私達も共有しました。「皆様華やかで、お元気で何よりも笑顔を見ることができバーテンダー冥利に尽きました。」とご紹介の際 ITC-J のご感想を述べられました。お二人を我々全員も笑顔と拍手で送ることができました。



教育セッション E

プログラムリーダー 鳥谷 まゆみ

「ワールドカフェ」 あなたの言葉が 未来をつくる

カフェホスト 齊木ゆかり



齊木ゆかり会員がカフェホストを務めるワールドカフェは「あなたを生物に例えると何でしょうか？ 絵で描いてください。」という言葉から開店しました。

参加者は初め戸惑っていた様子でしたが、騒然としながらも楽しそうにクリア。カフェホストの緊張を感じさせないリードで、どんどん新しいワールドが広がっていきました。最後に ITC-J のビジョンと今からできることを漢字一文字で書いた付箋紙をホワイトボードに貼った後、集合写真を撮り閉店しました。参加者の皆さんの花のように開いた笑顔がワールドカフェの成功を現わしていて、プログラムリーダーの任務はカフェホストのご紹介でしたが、その進行のお手伝いできたことが大きな喜びでした。



教育セッション F

プログラムリーダー 片桐 寛子

「議事法は面白い！」 ～分かりやすく、楽しく～ 教育資料委員会

委員長
沖田 道子

委員
奥田小夜子 成定 正子
米門 公子 吉田瑠美子



「なんだか面倒…」 「難しそう…」 しかし、私たちの組織には必要不可欠な議事法。

議事法のエキスパート 沖田道子教育資料委員長の周到な計画とリードで、行き届いた資料を使つての充実した楽しいセッションになりました。間違いだらけの議事進行スキットと正しい実行例。要所要所での Q&A やインタビューで共に考え、そして“豪華な”賞品つきビンゴでは会場中が熱中して、知らず知らずの間に議事法についての知識が殖える、変化に富んだ構成でした。

議事法に対する苦手意識をなくして使いこなせば、私たちの議事も楽しくスムーズに進行することが出来ると思わせるプログラムでした。



スピーチコンテスト 英語の部



委員長
岡島 詠子

「やっとかめ」でした！お久しぶりに会場に集まり、英語の部4名、日本語の部8名のスピーカーの皆様が素晴らしいスピーチをご披露くださいました。コンテスト、PLの南谷みどりさん、田中基子さんのスムーズな司会進行、そしてお役の皆様方、そのサポートがあってこそこのコンテストであったと感謝申し上げます。一年間委員会活動はすべてZoom会議でしたが、会場に出席した多数の会員のあたたかい拍手は、リモートでは味わえない達成感と感動のご褒美を頂いたと思っています。ありがとうございました。



プログラムリーダー
南谷みどり

	Contestant (Club)	Subject	Title
1st	C.J.Marks (No.3 Crystal Kobe)	Experience	My First Day at School
2nd	Atsuko Takayama (No.4 Bilingul Saijo)	Reason for Living	My Bible

スピーチの要約

優勝 C.J.Marks



We open with C.J. going to teach at a school for the first time. It is a Saturday and he is scheduled to teach at the school twice a month. The school is Kansai Korean School.
(The name of the school has been changed.)

C.J. arrives at the school and later realizes that he is not at a Kankoku Gakkou (韓国学校)...he is at a Chosen Gakkou (朝鮮学校)

C.J. is a bit worried about what will happen next but in the end things turn out well. The message of the story is to not judge people that we have never met.

我々はメディアからの情報に影響され、無意識のうちに偏見を持った目で物事を判断することがあります。私もメディアに影響され、無意識のうちに朝鮮の人たちに対して偏見を持っていました。このスピーチは、C.J.がある学校に初めて教えに行くところから始まります。学校の名前は関西コリアン学校（仮名）です。

C.J.は関西コリアン学校が韓国の学校だと思っていました。しかし実際は、朝鮮学校であることに気づきました。C.J.は次に何が起こるか少し心配になりました。

C.J.は3クラスを教えました。1番目のクラスを教えた後、彼はもう心配していませんでした。2番目のクラスでは、彼はとても楽しい時間を過ごしました。3番目のクラスも、無事に終わりました。すべての授業の後、C.J.は校長先生と面会し、校長先生との会話を楽しみました。

その後、C.J.はその学校で1年間働きました。生徒に新しいことを教え、自分も新しいことを学びました。

実際に朝鮮の人たちと接することで、私は自分の認識が誤っていたことに気づきました。このスピーチのメッセージは、「メディアに惑わされて、会ったことのない人たちを批判してはならない」ということです。



スピーチコンテスト 日本語の部

	氏名 (クラブ)	論 題	題 目
1 位	向井 節子 (No.1 飛騨高山)	輝き	老いの風景・その後
2 位	赤松奈緒子 (No.3 芦屋)	希望	支え合う仲間
3 位	布野 泰子 (No.7 出雲)	おしゃれ	5センチのピンヒール



プログラムリーダー
田中 基子

スピーチの要約



優勝 向井 節子



前回のクラブでのスピーチから7年を経て、80才を迎えての老いの変化と日常を「老いの風景・その後」と題しました。

山を登った後の遠くが見渡せた下り坂である老いの風景は美しくゆったりと味わい深いだけのものではありませんでした。麓の見通しの悪い樹海へと続いていたのです。想像していたように静かで穏やかなものではなく、決して美しいものでもありません。美しくない恥ずかしいエピソードの話題を交えながら、消費期限が見極められないこの年齢からのゴールプランニングを話しました。エンディングノートの書き換えと断捨離だけでは寂しいので目標を立てることにした過程を話し、2つのプランを聞いて頂きました。

ひとつは綺麗なクロールを泳ぐこと、もう一つは法華経を暗記すること。不安な樹海の中でも、その時々出来ることを考え、美しくない老後をせめて自分だけは面白がって行こうと述べました。

「幸せだから笑っているのではない、笑うから幸せになる」という言葉を紹介、今が一番、今が輝く時、無理にもそう考えて笑って80の壁を乗り越えてゆきたいと思いを語りました。

何より聞き上手な会場の皆様の頷きと笑顔がスピーカーにとって話しやすい雰囲気を作ってくれました。今は幸せで笑っています！

40周年記念式典

ITC-J 40周年によせて

京都クラブ 常田 道子

第2次世界大戦が終わり平和への歩みが進められる社会になりました。1949年米国駐留軍の高級将校夫人たちが、すでにアメリカで戦前から活動中のトーストミストレスクラブを日本にも作りましょうと外国人6名、日本人22名が集まりました。

1951年正式に政府から国際団体に加入の許可がおりクラブができました。ハンドブックが有志によって翻訳され、以後16年間名古屋クラブは日本唯一のクラブとして活動、バイリンガルで会合を開いていました。1966年阪神クラブが日本人19名、外国人6名で発足し、1972年神戸クラブが初めての英語クラブとして発足し、1973年にこの3クラブでカウンスルが設立されました。1982年日本リージョン設立大会は京都パークホテルで第1期の役員就任式・晩餐会がともに行われました。この年クラブ数16、会員数433名でした。思えばリージョン設立40年、日本のITCは実に健やかに立派な歴史を刻んできたものと感無量のものがあります。現在、クラブ数56、会員数713名です。

私たちはこれを引き継いで誇りをもって未来につなげていきましょう。



乾杯 常田道子



スクリーン 第1期会長 新木昌子



愛知県知事
大村秀章氏



名古屋市長
河村たかし氏



西村みつ子スピーチ



司会 増原久美子

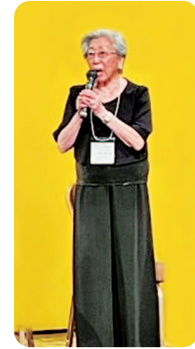


歴代会長

役員退任式・就任式



退任式



インストーリングオフィサー
高木清子



ギャベル贈呈



次期会長
佐野千賀子



就任式

継続会員表彰

40年



表彰司会
山口久美子

30年



20年



晩餐会



お出迎え



ステージ花



カクテルパフォーマンス



花人
河村敦子氏



開 会 式



会長 稲葉由利子



会員代表挨拶



ITC-J宣誓



司会



カOUNシル No.1



カOUNシル No.2



カOUNシル No.3



カOUNシル No.4



カOUNシル No.5



カOUNシル No.6



カOUNシル No.7



カOUNシル No.8

議 事 会 議



派遣員説明会



審議

大会準備委員会アラカルト

Aコース

尾張徳川家の宝物を楽しむ!



これを楽しみに名古屋に来た 名古屋はいい
美術館をゆったり楽しめた
Happyな気分
間香はかた苦しくなく貴重な体験ができた
貝合わせがよかった
観光委員会の対応が申込時点からきめ細やかで
楽しかった

Bコース

名古屋老舗料亭 志ら玉を楽しむ!



料理はもちろんお道具、茶席のしつらえに久々
にはんなりした
心のこもったおもてなしと丁寧な季節感満載の
お料理に幸せな一日
珍しいお道具とその丁寧な説明で勉強になった
満喫 企画に大満足
はるばる関西から来た甲斐があった
このお値段で頂けるのは ITC-J のお陰
たくさんの方とお友達になることができた



ページ



販売



受付



晩餐会受付

第41期 ITC-J テーマと次期役員・次期指名委員会

第41期テーマ 「柔軟な思考と発想で 新しいエポックを」

次期役員

会長	佐野 千賀子	(No.8 東京)
次期会長	高山 敦子	(No.3 淡路)
第一副会長	後藤 英子	(No.3 姫路)
第二副会長	若林 裕子	(No.2 甲南)
書記	川崎 邦子	(No.4 岡山)
会計	稲井 幾子	(No.7 倉吉)

次期指名委員会

委員長	津田 由貴	(No.3 西宮)
委員	後藤 絹代	(No.1 錦)
委員	興 梶 美和	(No.2 御影)
委員	平井 典子	(No.5 豊中)
委員	豊川 美千代	(No.6 平安)

ITC-J 第41期年次大会案内



大会テーマ 「仲間がいてこそ」

開催日：2023年7月5日(水) 6日(木)

場 所：ホテルイースト21東京

次期大会準備委員会

コーディネーター 山口久美子 (No.8 葦崎)

コ・コーディネーター 市橋 和子 (No.8 東京)

閉 会 式



会場から



クロージングソート
宇都木良美



閉会式

大会準備委員会より



後藤 絹代 伊東恵美子

「来期は東京でお会いしましょう!」「東京、楽しみですね!」「お元気でね」と皆様の弾むお声や笑顔のご挨拶。参集、対面による40周年記念年次大会はITC-J本来のコミュニケーションの再認識とITC-Jのこれからの繋がる大きな力と喜びを享受できた意義ある大会であったと確信いたします。

全会員のITC-J愛と叡智が成せる集大成が年次大会であると思えました。

大会準備委員会は安心、安全を最優先に効率的に準備活動を進めて参りました。

全会員の皆様、多大なるご協力とお力添えに心より感謝申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。

岡本 淳子様 (No.3 姫路クラブ・クリスタル神戸クラブ) は 2021年11月22日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



ITC-J ウェブサイト会員ログイン方法



- ① 下記のQRコードを読み込む ② <http://www.itcjr.jp/> クリック



会員ページへログイン

ユーザーID : 会員番号

パスワード : 会員の姓のローマ字小文字
(例nihon)

編集後記

※20ページって少ないと思ったら意外とボリュームがありました。何が必要で大切な情報かを吟味し、委員全員で走り抜けました。会報Ⅲは皆さんの笑顔でいっぱいです。そして表紙の ITC-J ロゴマークは光射す未来へと昇って行きました。編集者 大原 慶子

※会報の作成に携わり多くの ITC-J 会員の皆さまに接した時、ここには価値を共有できる素晴らしい仲間がいる喜びを実感いたしました。そして委員会のメンバーに恵まれ楽しい一年を過ごすことが出来たことに感謝しています。立花 眞琴

※私は物を集める癖がある。消しゴムのカス、古着のボタン、シャンパンの針金付コルク、壊れたネックレスの玉など枚挙にいとまがない。編集は文章や資料を集めて会報にする。この集めてというところが私の癖に適合したらしい。実に楽しい編集であった。村山 紀子

※編集の仕事は初めてのお役でした。冊子の作成には正確さと迅速さが求められ、会員とのやりとりにも気配りが必要でしたが、委員の皆さんととてもスムーズに進めることができました。一仕事済んだ後の雑談も楽しく、良い経験ができたことを嬉しく思います。橋爪 明子



ITC-J 宣誓

ITC-J Pledge

我々、インタラクティブ トレーニング イン コミュニケーション
ジャパンのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニ
ケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

We, as members of Interactive Training in Communication-Japan,
hereby pledge to improve our communication and leadership skills,
in order to achieve greater understanding throughout the world.

2021-2022

ITC-J 声明文

Mission Statement of ITC-J

ITC-J の使命は、ITC-J の目的とするコミュニケーション技術と組織
運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた
成熟した社会人を養成し社会に貢献することにある。

The mission of ITC-J is to present the members opportunities
for quality training in communication and leadership skills which are
the purposes of Interactive Training in Communication-Japan
and benefit the society by providing mature individuals.